



東国分中だより

令和6年11月1日
NO.9

学校 HP

学校教育目標 「夢や希望を抱き、生きる力を持った生徒の育成」
～知・徳・体の調和のとれた生徒～
<https://ichikawa-school.ed.jp/ekokubun-chu/>

東国分爽風学園
市川市立東国分中学校
校長 植木 昭貴



11月。「防災意識」を高める～自助と共に～



☆11月5日は「津波防災の日」

東日本大震災を教訓とした「津波対策の推進に関する法律（2011年6月）」により、11月5日が「津波防災の日」として制定されました。この日は、1855年（安政元年）11月5日の安政南海地震（M8.4）で和歌山県を津波が襲った際に、稻に火を付けて、暗闇の中で逃げ遅れていた人たちを高台に避難させて命を救った濱口悟陵の逸話にちなんで定められました。

今年1月に発生した「能登半島地震」、そして9月の「奥能登豪雨」…、能登地域の方々は甚大な被害を受け、多くの尊い命が失われてしまいました。予知が難しい巨大地震、線状放水帯の発生等による私たちの想像をはるかに超えた豪雨災害。もはや大災害は、いつ、どこで起きても不思議ではなく、他人事ではありません。

10月上旬に行われた、国分地区民生児童委員会の中でも、地震や豪雨災害等が発生した際、避難所として指定されている近隣小中学校の設備の現状や機能等について情報及び意見交換がなされました。実際、東国分中ブロックにおいても、稻越や堀之内等の一部の地域において、大雨の際には道路が冠水し、歩くことも危険な状況になります。

災害が起きてからどうするかを考えても「自分や周囲の大切な人の尊い命を守ること（=自助と共に）」はできません。日頃から、様々なシチュエーションを想定して家族で話し合い、避難所や連絡方法の確認、防災用品の点検等を事前に行っておくことが大切です。また、市川市のハザードマップも確認しましょう。自分が住んでいる場所とその周辺にどのような危険が潜んでいるのかを知るために必要です。



市川市水害ハザードマップ：<https://www.city.ichikawa.lg.jp/gen06/1511000002.html>

市川市 地区別減災マップ：<https://www.city.ichikawa.lg.jp/cris01/1111000002.html>

生徒主体の「秋」!

【その1：生徒会本部役員選挙】

10月4日（金）、生徒会本部役員選挙が行われました。生徒会本部役員に立候補した1・2年生は、東国分中をより良い学校にしていきたいという、熱く、真剣な思いを懸命に伝えてくれました。全校生徒の皆さんも、生徒会本部役員に惜しみない協力をしながら、みんなで新しい東国分中を創り上げていってください。



【その2：5組校外学習～八幡の藪知らず・市川市役所・葛飾八幡宮～】

10月10日（木）、バスと電車を乗り継ぎ、八幡へ校外学習に行きました。様々な言い伝えを持つ「八幡の藪しらず」には興味津々！葛飾八幡宮の「千本イチョウ」の迫力には感動！でした。市川市役所では、市民課、障がい害者支援課、農業振興課の方たちに事前学習で考えた質問をしながら、市川市役所の役割や仕事などについて深い学びを得ることができました。



【その3：秋風祭（合唱コンクール）】

スローガン 「精神一到～無限の彼方へ響け～」

10月18日（金）、令和6年度秋風祭（合唱コンクール）が開催されました。

どの学年・学級も、限られた練習時間の中で、一生懸命合唱練習に励んできました。合唱コンクールという学校行事を通じて深めた学年・学級の絆と思い出を大切に、今後の学校生活をさらに充実させましょう。秋風祭全体の準備・運営に力を尽くしてくれた、秋風祭実行委員会のみなさん、生徒会本部役員のみなさん、お疲れさまでした！そして、ありがとうございました！



最優秀賞 3年3組「虹」
11/13（水）学校代表として、市内音楽会に参加します！



生徒会交代式
旧から新へバトンが引き継がれました。旧生徒会本部役員の皆さん、お疲れさまでした！

3年学年合唱「大地讃頌」
心を一つに、感動的なハーモニーを響かせてくれました。